



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 1月号
鹿沼市立みなみ小学校
Tel 0289-75-4021
令和4年 1月発行
文責：後藤 勝浩



★みなみ小ホームページへ

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年を迎え、子供たちは気持ちも新たに3学期の学校生活をスタートさせました。教室では子供たちの真剣なまなざしと堂々と発表する姿が見られます。また校庭では、一年間で一番寒い時期にもかかわらず元気よく走り回る姿が見られる毎日です。

プロゴルファーの古市忠夫さんが考えたものに、「奇跡を起こす方程式」があります。「奇跡=才能×努力×感謝力」というものです。古市さんは、「どんな時でも正直に、悔いなく、感謝の心をもって生きると、ものすごいパワーが生まれて奇跡を起こしてくれる。」「感謝は人の心を大きく、美しく、そして強くする。」と語っています。

この言葉に共感する一流の芸術家やプロアスリートも多く、社会全般に通じる真理なのではないかと思っています。

本校児童は、皆、素直で明るい子供たちです。その素直な心が、さらに真っすぐに大きく育つように3学期の教育活動に取り組んでまいります。



第3学期始業式

●1月11日(火)、放送にて第3学期始業式を行いました。2年生の代表児童が、新年の抱負を立派に発表しました。校長からは、「行動力のある自分・新しく成長する自分」に向けて3学期の目当てを立ててほしい、という話をしました。



学校保健委員会

●1月13日(木)、学校保健委員会を開催しました。「健康について考える」というテーマで、健康委員会の児童が考えたことをグループごとに発表した後、保護者の皆様からご意見をいただき、最後に、学校薬剤師の君島先生より指導講評をいただきました。

参加者にとっては、とても有意義な時間となりました。



通学班編制

●1月17日(月)、通学班編制を行いました。通学班の新旧班長が集まり、新入生の確認や集合時間・集合場所などについて話し合いと確認を行いました。上級生がリーダーシップを発揮して、安全に登下校するこの伝統を、今後も続けていきたいと思います。



お知らせ

★昨今の新型コロナウイルス感染症の急激な再拡大の現状をふまえ、卒業式と入学式は、児童・教員・保護者のみで行い、ご来賓の皆様はお招きしないことにいたしました。ご案内状を発送いたしませんので、ご理解をお願いいたします。

★今後の感染拡大の状況により、本校の教育活動に変更がある場合には、ホームページやメールにてお知らせいたします。

令和３年度 学校評価の結果について

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校教育をご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。
今年度の学校評価【自己評価】の結果について、概要をお知らせいたします。
「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的な回答をした割合(%)を掲載しました。

	No.	項 目	児童	保護者	教職員
学校のこと	1	学校は楽しい。	92	99	100
	2	学校は安全で安心して生活できる。	96	99	100
	3	学校ではみんな仲良く生活している。	97	99	100
	4	学校にはいろいろな行事や活動があってうれしい。	90	97	100
	5	学校では自分に合ったやり方で勉強できる。	92	96	100
	6	学校の勉強はよく分かる。	91	89	94
先生のこと	7	先生は私たちを大切にしてくれる。	97	96	100
	8	先生はよく話を聞いてくれる。(または遊んでくれる)	96	97	100
	9	先生はよいところやがんばったことをほめてくれる。	94	96	100
	10	先生はよくないことはきちんと注意してくれる。	99	98	100
	11	先生は勉強を分かりやすく教えてくれる。	95	98	100
自分のこと	12	自分から進んであいさつをした。	85	93	71
	13	自分から靴箱へかかとをそろえて靴を入れた。	90	99	100
	14	自分から立腰(りつよう)に気を付けて生活した。	83	93	88
	15	自分の考えを進んで発表した。	69	78	71
	16	話をする人の方を向いて話を最後まで聞いた。	87	91	71
	17	本をよく読んだ。	75	69	82
	18	友だちに親切にした。	93	100	100
	19	学校のきまりを守って生活した。	95	98	100
	20	外で元気に遊んだ。	86	92	82
	21	「早寝・早起き・朝ご飯」が守れた。	81	93	87
	22	事故に遭わないように安全に生活した。	96	95	100
	23	めあてを持って最後までがんばった。	90	96	100

【今後に向けて】

○本校のすべての児童にとって「学校が楽しい」「安心して生活できる」「勉強がよく分かる」「自分は大切にされている」と思えるような学校となることを目指して、教職員全員で取り組んでまいります。

○あいさつや読書については、昨年度より肯定的な評価が増えているものの、今後も重点的な課題として、保護者の皆様や地域の方々のご協力を得ながら、そして近隣の小中学校とも連携を図りながら、取組の工夫改善に努めてまいります。

